



まちなみ・
まちづくり部門

景観賞

中倉あすなろ会

建造物部門

景観賞

吉香茶室



まちなみ・
まちづくり部門

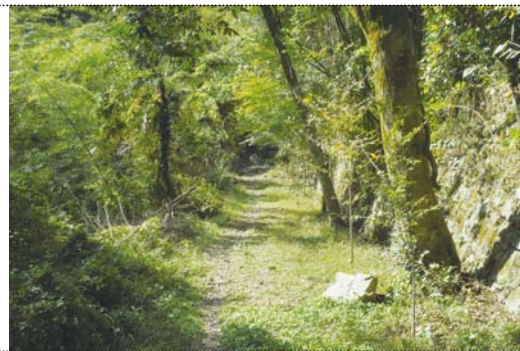
景観賞

任意団体 竹の会

まちなみ・
まちづくり部門

景観賞

関戸歴史の会



まちなみ・
まちづくり部門

奨励賞

蓮華山登山道を
整備する有志の会

まちなみ・
まちづくり部門

奨励賞

岩国錦見朗小路
自治会



市民に岩国市の景観を身近に感じ、意識・関心を深めてもらうことを目的とした「いわくに景観賞」の表彰式が、2月13日に市役所で行われました。

この賞は周辺と調和するようにデザインなどが工夫された建造物や、良好な住環境や自然環境を守り育む活動などに携わる人たちの表彰するもので、昨年6月に募集し、建造物部門とまちなみ・まちづくり部門で計18件の応募がありました。

岩国市景観審議会による評価

第2回いわくに景観賞決定

・選考の結果、建造物部門では、昨年3月に改修が完了した吉香茶室が表彰されました。

まちなみ・まちづくり部門では、関戸から小瀬峠に至る旧山陽道の整備、耕作放棄地を活用したそば作りや交流活動、錦川流域の放牧竹林の整備など、地域の景観の魅力を創り出す活動が表彰されました。

受賞者の活動内容や講評などの詳細については、市ホームページで紹介しています。

関公園景観課 ☎(29)5162

魅力ある景観づくりを評価

市政 PICK-UP



表彰式後、受賞者全員で記念撮影を行った

岩国れんこんの良さを

2月6日、尾津町のレンコンほ場で、岩国れんこんの掘り取り体験が行われました。

このイベントは、市の特産である岩国れんこんの良さを知ってもらおうと毎年開催されており、8年前からは岩国航空基地関係者も参加し、日米交流の場ともなっています。

当日は市民や基地関係者ら約40人が参加し、生産者に手順を教わりながら収穫を行いました。ぬかるみに足を取られつつも参加者同士で協力し、大きなレン



土から出ている茎を目印に、スコップや貝かきを使って掘り進めた

岩国れんこん掘り取り体験

コンを掘り出した際は、言葉の垣根を超えて、収穫の喜びを分かち合っていました。

参加者は「思っていた以上に力が必要で大変だったが、折れずに収穫できた時はうれしかった。家に帰ったらいろいろな料理を作りたい」と話しました。

岩国れんこんは4月に植え付けが行われ、9月から翌年の3月にかけて収穫が行われます。このほ場の植え付けは愛宕小学校の児童が行ったものです。
園生産流通課 ☎(32)7355



節の部分が折れやすいため、大きなレンコンが折れることなく取れると歓声が上がった

連携し、みんなで子供を育む

令和2年度から、全ての市立小・中学校で本格的な小中一貫教育が始まるのを控え、2月7日、市民文化会館で研究発表会が開催されました。

教職員や保護者、地域住民らに、小中一貫教育への理解を深めてもらうとうと開催したもので、14ある市内の全中学校区で取り組んできた、小・中連携の取り組み事例が発表されました。

平成28年度から小中一貫教育を見据えた連携を進めてきたことで「小・中で目指す子供像が

岩国市小中一貫教育 ブラッシュアップ研究発表会

共有でき、9年間を通しての指導が可能になった」「中学進学時に問題が起きやすい中1ギャップが減少した」「小学生と中学生が一緒に活動することで、憧れや自覚が喚起された」などの成果が上がったことが報告されました。

市では、小中一貫教育と地域連携を推進することで、市の教育目標である「志高く豊かな心と生き抜く力を育む」の実現を目指していきます。

園教育指導室 ☎(29)5203



山口大学教職大学院の池田廣司教授の講演が行われ、岩国市の小中一貫教育への取り組みが高く評価された



小・中学生の交流や小・中合同運動会、中学校教諭による小学生への出前授業など、多くの事例が発表された